

令和5年度第4回静岡県作業療法士会理事会 議事録

1. 開催日時 令和5年10月15日 午後 13時00分～ 17時48分
2. 開催場所 公益社団法人 静岡県作業療法士会事務局（静岡市葵区昭和町9-5 第二大石ビル8F）
3. 出席者
監事 理事総数 15名
出席理事 14名
代表理事 岡庭隆門（議長）
理事 村岡 健史 川口 恭子 武内 元 秋山 尚也 生田 純一 大石 裕也 加納 彰
藤田 さより 齊藤 洋平 伊井 玄 大塚 昭宏 稲葉 洋介 建木 健
監事 秋山 恭延 勝又 和也
事務局 高岡 留美 市川 志帆 坂中 里歌

4. 決議事項
第1号議案 次年度事業指針について
第2号議案 各部局からの決議事項

5. 報告事項
報告第1号 48委員会報告
報告第2号 第37回静岡県作業療法学会 報告
報告第3号 各部・WG報告（職務執行状況・修正対応の報告）
報告第4号 その他

6. 開会
事務局が定数を満たしていることを報告し、議長は本会が成立していることを宣言した。

7. 議事の経過要領及びその結果（決議事項）

- 1) 第1号議案 次年度事業指針について（岡庭会長）
 - (1) 会員に向けた研修会・学会等は、分野横断的・重層的な視点での開催の促進と共に、子育て世代、勤務形態の多様化に対応した 短時間近隣・オンラインや動画配信による研修への検討と具現化の促進。
 - (2) 県民に向けた普及啓発事業は、適切な感染状況に応じた活動指標に則った上で、開催方法など柔軟に対応を検討。
 - (3) 共益事業については、同様に、実施方法を検討し実施をする。
 - (4) 法人管理事業については、機能強化、可視化、合理化を進める。
（資金運用についての整理・報酬体系の課題の整理と見直し）
 - (5) 協会＝県士会の実施に向けた会員管理・事務詳細について課題整理し対応。
 - (6) 組織率維持に向けて、会員メリット（福利厚生・様々な方式での還元など）の検討。
 - (7) 会員相互の密接な繋がり組織化と成熟を目指す
承認
- 2) 第2号議案 各部局・事務局からの決議事項
 - (1) 財務部（川口副会長）
予算・事業計画作成マニュアル
次年度、事業計画を立てる流れと、計画作成時のポイントをまとめたマニュアルを作成したマニュアルの承認をお願いしたい。
（マニュアル記載内容）
 - ・郵送費、手数料の目安金額
 - ・事業計画書記載順や新規事業の記載方法
 - ・予算を立てるときの注意点
 - ・2024年度から変更する、講師謝金支払い基準 等【マニュアル一部抜粋】
 - ・新規事業（例年にないもの）を計画した場合は、10月・12月の理事会で議論・承認を得る

こと。

- ・1月の予算審議委員会では予算が正当なものかを判断するため、事業内容の議論はしない。
- ・講師料の変更
新規事業の予算の立て方について、適切な予算と新規事業の承認を明確にする整理すること、講師依頼時に向けたマニュアル作成である。(岡庭会長)

承認

(2) 学術部(生田理事)

- ・査読依頼の際、公文書の発行をお願いしたい。
認定作業療法士更新の際のポイント付与条件に含まれており、今後も会員からの依頼が想定されるため。協会からは、依頼の詳細に加えて公印が必要との指示があった。

(意見)

- ・必要なことであるため、対応していく(岡庭会長)
- ・今後は数年間査読者を固定し、一括で処理が行えるようにしていく予定(生田理事)
- ・査読証明書について、作成している(武内事務局長)
- ・協会にも確認し、証明書について確認いただいている(生田理事)

承認

(3) 教育部(秋山理事)

- ・講義資料の印刷について
現状：3～4時間かけ1200部を印刷
改善案：外部業者、作業所などに依頼する
事務局で印刷してもらう
参加者がダウンロードして各自印刷する

(質疑)

- ・外部委託が第一選択。障害福祉サービスもあるため、複数の事業所から選択していくのが良いと思う。きちんと予算を挙げて実施していくように。(岡庭会長)
- ・外部委託の場合、金額については1～2万円ほど。(秋山理事)
- ・外部委託が良いと思う。研修費で十分賄うことが可能。(大石理事)
- ・外部委託により部員の負担を軽減していくことが良いと思う。(秋山監事)
- ・紙よりもデータのほうが良い人もいるか?(岡庭会長)
- ・県士会管理で行うのは難しいのではないか(村岡副会長)
- ・発達班はグーグルドライブに保存して一時的に開放した研修会(30人程度)を行った。問題なかったため、今後も行っていく予定。(伊井理事)
- ・障害者の事業所については、行政が発行している冊子に掲載しているかもしれない。(建木理事)

印刷の外部委託について、承認

(4) 福利部(齊藤理事)

- ・東海北陸リーダー養成研修会
静岡県代表者5名の選出について自他薦にて検討いただきたいです。
福井県は5名で申し込みあり。
各部から推薦で出していただけたら。
日時：11月26日(日)10時～16時

(意見)

- ・参加できる理事、各部局で部員がいたら調整を図っていきましょう。10月20日(金)を1回目の締め切りとして声かけを行っていく。(岡庭会長)

(5) 地域事業部(建木理事)

- ・メディアメッセージ2023 スタッフの承認

承認

(6) 表彰委員会(市川)

- ・補正予算申請
令和5年度静岡県作業療法士会表彰及び令和5年度感謝状授与の該当者がおらず開催に至らなかった。合計62,576円の減額としたい。

承認

(意見)

- ・表彰委員会のみではなく、各部局で表彰の対象や該当者について考えていくことが必要では

ないか。例えば、県士会の部員の継続年数や新聞に載った等。(岡庭会長)

- ・表彰にあたる事例を複数挙げていき、理事会に出していくのが良いのではないか。対象設定が難しい。(齊藤理事)
- 理事会での継続議題とする。

(7) 事務局 (武内事務局長)

浜松市精神障がい対応地域包括ケア連絡会構成員の推薦 明石幸子氏
承認

委員派遣、後援依頼等の対応について

現状会長に全てを割り振っていただく流れで進めているが、今後対応可能なものは事務局で割り振り審議依頼をしていきたい。

承認

(意見)

- ・依頼事項が増えている。事務局で振り分けを行っていけると返答が正確となるのではないか。基本は事務局で振り分けを行い、振り分け先に迷った際は地区等に振っていく。(岡庭会長)
- 会費の支払いについて
- コンビニ払込 9月30日迄使用期限 以後は郵便振込 年間設定として入会者や再請求書等もコンビニ払込に変更し、いずれは郵便局口座を解約 静銀口座の一本化を考えていきたい。

(質疑)

- ・時代背景に適した対応をしていくように(岡庭会長)
- ・1か月8000円+手数料であり、1人振り込むことで費用対効果あり(高岡)
- ・郵便局で支払う人は振り込み期限切れの人が多いのか(大石理事)
- ・期限内に郵便局で振り込む方はほとんどいない(武内事務局長)

承認

新規入会者の承認

承認

産経新聞への広告依頼について

高校生向けのこれが私の青春！フォトコンテストや、他のご案内を含め広告掲載を検討いただきたいとの連絡あり

11月上旬(日程は1日~9日ぐらい) 産経新聞 静岡県版 朝刊
縦170×横380ミリのカラー広告枠 66,000円(税込み)
原稿制作料は別途(16,500円)

(意見)

- ・広報の方法については各部局の判断で行っている。新聞を媒体とすることも1つの選択肢ではある(岡庭会長)
 - ・産経新聞を読んでいる高校生は少ないのではないか(大石理事)
 - ・産経新聞の目に留まったことは良いことだが、高校生向けではないと思う(建木理事)
- 今回の企画は対象ではないため、見送ることで承認

(8) 総務部 (伊井理事)

公文書関連

- ・公文書発行管理規程の承認(別紙1900-1)
- ・公文書発行手続き(別紙1900-2)
- ・査読者証明書(別紙1900-3)

(質疑)

- ・今後、請求書や領収書の発行についても事務局を通して処理できるように検討していただきたい(大石理事)
- ・きちんとした書類であるため、番号にてきちんと管理していくように(岡庭会長)
- ・フォトコンテストについても公的に動いている事業であるため、外部向け事業の把握も行えるようにしていただきたい(建木理事)
- ・規程について、文書発行規程と公文書発行規程を統合していくこととなったが、フォトコンテスト等は公文書ではなくなるため、文書発行規程は別に必要か(藤田理事)
- ・文書発行規程があったほうが信用を得やすいのではないか(伊井理事)
- ・規程については、総務部で検討していく(武内事務局長)
- ・印の必要性の有無に関わらず、外部に出る事業は県士会の名前が出るが多いため、管理把握していくことが必要ではないか(建木理事)

・事務局を問い合わせ先としていることが多いため、把握は必要（大石理事）

公文書について承認

外部へ出る事業の文章も合わせて一括で管理していく方向で進める。

委嘱状発送の時期の変更

現状、理事同様部員も総会日より2年間の任期として委嘱状を発行。（総会で役員体制が整ってからの動き出しのため）しかし、総会日前に実務が発生する部局もあり、期首（4月1日）～期末（3月31日）に合わせたい。

（質疑）

・総会前から実務は行っているため、理事の委嘱と合わせる必要はない。（岡庭会長）

・内諾の時期はもう少し遅らせても良いのではないか（建木理事）

・内諾の時期、委嘱状発送時期については、再度検討していく（武内事務局長）

時期等を検討して、動いていくことで承認

（9）第37回学会（大塚理事）

総会の開催について

学会会期内での開催により、集客を見込む方法としては有効ではあるものの、学会の企画時間への影響も大きく、別での開催を検討していきたい

（質疑）

・参集人数で考えるのではなく、多くの方へ情報を伝えられる方法で実施していくのが良いのではないか（岡庭会長）

・学会の運営が難しいため、別開催としていくほうが良い（稲葉理事）

・スケジュールに無理が生じているため、別開催が良いと思う（伊井理事）

・開催方法については再検討していき、多くの方に発信できるような総会を提案していきたい（武内事務局長）

総会と学会は別開催としていくことで、承認

8. 報告事項

1) 報告第1号 48委員会報告（岡庭会長）

・政治的な動きも重視している。

・協会は組織率の低下を危惧している。静岡県は組織率が高いが、維持していけるように。

・地域包括に目を向けていくことは必要であるが、その先にも目を向けていくことや人材育成に力を入れていくように

・地域貢献事業がモチベーションの向上や所属意識につながりやすいと報告あり。

2) 報告第2号 第37回静岡県作業療法学会 報告

・下記参照。

3) 報告第3号 各部・WG報告（職務執行状況・修正対応の報告）

（1）財務部（川口副会長）

四半期決算提出状況

10月10日付で、四半期決算報告を各部よりご提出いただいている。

未提出の部局は提出をお願いします。（会計担当者との確認をお願いします）

また補正予算が必要な部局は、申請をお願いします。

次年度予算案作成スケジュール

12月末 各部局より次年度の予算案提出

1月上旬 財務部確認

1月下旬 予算審議委員会

研修会参加費入金システムの活動状況の確認

12月頃に、今年度試行している参加費納入システムの

「ピーティックス（教育部）」、「パスマーケット（学術部）」の使用感やメリット・デメリットを確認するアンケートの実施を計画している

会計突合作業

令和5年度7月分：8/10～8/24 リモート突合作業：草谷・山本・吉野・岡本・川口

令和5年度8月分：9/10～9/22 リモート突合作業：草谷・山本・吉野・岡本・川口

*9/30事務局会議で「会計突合作業」の確認を改めて行った。

財務部会議

8月24日（木）19：30～zoom会議 武内・草谷・山本・吉野・福地・伊井・岡本・川口

9月30日（土）13：30～対面会議 草谷・山本・吉野・福地・事務局大石・岡本・川口

事務局合同会議

9月30日(土) 15:00～ 財務部員、事務局員参加

総務部員、事務局員合同で開催され、情報共有を行った。

(意見)

- ・次年度の新規事業は次回の理事会で挙げるように(岡庭会長)

今後の財務部会議(生田理事)

10月19日(木) 19:30～ リモート予定

(2) 学術部(生田理事)

本体

本体：中部地区責任者不在

パスマーケットの運用に向け、4月28日に説明会を実施。

東部：第36回学会実行委員と学術部員を兼務しながら学会業務を進めていく

中部：10月16日演題募集開始を目標に進めている

西部：中部地区と連携し演題採択作業を行う

高次脳機能障害班

SIG:

- ・研修会名：第31回 勉強会(基礎的な内容を予定)

開催時期：令和5年7月頃

講師：浅野友佳子氏

場所：Web開催

- ・研修会名：第32回 勉強会(実践的な内容を徒弟)

開催時期：令和6年1月頃

講師：未定

場所：未定(対面またはWebにて実施予定)

モビリティWG:

- ・研修会名：「障害者と高齢者の移動手段に関する考え方と支援方法」(予定)

開催時期：令和5年9月頃

講師：未定

場所：Web開催

精神障害班

SIG:

- ・第1回研修会

開催日：令和5年7月30日(日) 13:00～16:30

会場：対面開催(ハイブリット試験予定)

静岡県経済産業会館 第1会議室(静岡市葵区追手町44-1)

内容：大人の発達障害の評価と支援について

講師：飯田妙子氏(聖隷クリストファー大学)

参加数：21名(会場19名、Web2名)

- ・第2回研修会

開催日：令和5年10月8日(日) 10:30～16:30

会場：ハイブリット方式

あざれあ 502会議室(静岡市馬淵1丁目17-1)

内容：個別作業療法

講師：宇田英幸氏(埼玉県立精神医療センター)

参加数：23名(会場20名、Web3名、欠席1名)

- ・第3回研修会

開催日：令和6年2月10日(土) PMを予定

会場：ハイブリット方式

あざれあ 502会議室(静岡市馬淵1丁目17-1) 予約済み

内容：司法作業療法

講師：棟近展行氏(府中刑務所) 内諾済み

WG:

- ・令和5年度県自立支援協議会地域移行部会、第2回研修・ピアワーキング(Web会議)への派遣

8月14日(研修WG) 川口恭子副会長 杉野匠WG代表
8月15日(ピアWG) 岡庭隆門会長 大庭俊裕WGメンバー

発達領域班

SIG:

・スキルアップ研修会

テーマ:発達OTが考える子どもの作業-あそび編-

開催時期:令和5年9月23日(日)13:30~16:00

講師:講師:伊藤信寿氏(聖隷クリストファー大学)

佐々木直美氏(ちあーず)

渡美弘美氏(浜松市発達医療総合福祉センター)

星川望氏(社会福祉法人小羊学園 つばさ静岡)

開催方法:C&Cセンターきぼう

参加者:12名

WG:

・人材育成研修会

テーマ:特別支援教育について

開催時期:令和5年11月19日(日)10:45~15:30

開催方法:浜松子ども館分室 ここ・い~ら ザザシティ浜松中央館5階(対面)

【第1部】ギャラリー2【第2部】和室

住所:〒430-0933 静岡県浜松市中区鍛冶町100-1

・公開講座

テーマ:地域の関連職種に向けて-ICTについて-

開催時期:令和6年2月頃(予定)

講師:高橋知義氏(株式会社LinkLab 保育所等訪問支援Switch)

開催方法:対面で検討中

認知症班

令和5年度より新規部員を3名迎え、6名体制となる。

(年度途中より、中野小織が諸事情により退部)

川村 明広氏(鷹岡病院)

廣野 新 氏(中伊豆リハビリテーションセンター)

岩川 翔太氏(中伊豆リハビリテーションセンター)

SIG:認知症作業療法アップデート研修会

日時:令和5年8月20日(日)9:30~12:00

講師:三輪 尚人氏(静岡医療科学専門学校)

石切山 淳一氏(静岡リハビリテーション病院)

開催方法:ZOOMを使用したオンライン開催

SIG:認知症ステップアップ研修会

内容:「認知症の人とコミュニケーション技術について」

講師:川口 淳一氏(結城病院 作業療法士)

日程:令和6年1月21日(日)10:00~15:30

会場:もくせい会館

WG:家族会への参加「すぎなの会のつどい」

令和5年:6月13日、7月11日、8月8日、9月12日、10月10日、

11月7日、12月12日

令和6年:1月9日、2月13日、3月5日

上記参加予定

(3) 教育部(秋山理事)

生涯教育

現職者選択研修 身体障害領域

開催日:9月23日(土)-終了

会場:沼津市プラザヴェルデ 対面で実施

参加者:117名

・簡易的ハイブリッドを並行して実施

マイク&スピーカーを設置することで可能であった。今後ハイブリッドパッケージをつくり、

事務局以外でも誰でも簡単にハイブリッド開催ができるようにしたい。
現職者選択研修 共通研修

内 容：テーマ 3.職業倫理、 テーマ 4.保健・医療・福祉と地域支援
テーマ 6.作業療法の可能性、 テーマ 7.日本と世界の作業療法の動向

開催日：11月19日（日）

会 場：静岡医療科学専門学校 対面を基本としWEBも準備する

2023年度 第2回事例報告会

開催日：12月3日（日）

会場：東中西部対象 WEB発表会

事例報告発表者12名を予定

*今年度は1年間ですべての基礎研修が受講できるよう計画している

目標基礎研修修了者数100名以上

臨床実習（村岡副会長）

臨床実習指導者講習

第1回：7月22日（土）～23日（日）終了 72名修了（2名欠席）

第2回：10月21日（土）～22日（日）8月26日締切

累計

静岡県臨床実習指導者：77名

2020年度修了者：287名

2021年度修了者：212名

2022年度修了者：139名

2023年度修了者：72名

合計：787名（目標数600名を達成）

MTDLP（稲葉理事）

MTDLP基礎研修会

日 時：9月10日（日）

会 場：Web研修

参加者：42名参加 アンケート別紙参照。

MTDLP書き方講習会（CCS）+事例検討会

日 時：12月17日（日）

会 場：Web研修

参加者：募集開始

（4）広報部（大石理事）

会報誌

151号 11月中旬 発刊予定

152号 2月中旬 締め切り 12月末

153号 5月中旬 締め切り 3月末

154号 8月中旬 締め切り 6月末

広報誌

Vol.8 入りやすいお風呂場の環境について

ホームページ・SNS

・公式LINE 登録者数：153名 24名増加

・ホームページ push通知設定 481名 20名増加

アクセス解析 添付資料参照

・ホームページにポップアップ機能を追加

重要な情報を共有する際に使用（総会の委任状の発信等で使用していけたら）

ノベルティ

学生会員ようにクリアファイルを400枚程度使用

残り500枚 追加作成検討

各部での活動に必要な数がわかれば事前にご相談ください。

その他

静岡県医師会のHPにカルタ、広報誌の記事を載せたいと依頼があり原稿と画像データを提出。

静岡市の一部の小中学校で、教育委員会を通していないチラシ等は今後一切配布しないとのお知らせが届いているとの情報あり。

各部署、学会公開講座の開催等の広報に影響が出る可能性が有り。

(意見)

- ・教育委員会は市か県か？(建木理事)
- ・通すのは市の教育委員会とのこと(大石理事)

(審議事項)

- ・外部と契約をして、東中西部へ一括にメーリングリストで流せるようにしたらどうか(岡庭会長)
 - ・施設代表者が個人か宛先を明確にしていくことで有効ではないか(大石理事)
 - ・一括配信が良いと思う(村岡副会長)
 - ・登録やダウンロードのタイミング等、全体で統一をしていくことが必要(大石理事)
 - ・協会の会員管理システムに登録しているメールアドレスは活用されているのか(村岡副会長)
 - ・登録しているアドレス等は確認できるが、実際に活用して良いか等は協会に問い合わせてみないとわからない(高岡)
 - ・1つの媒体では見ない人もいるため、様々なところから配信していく。また配信していることをチラシ等で伝えていくことも必要ではないか(岡庭会長)
- QRコードを載せたチラシ等の作成について総務部で検討
西部地区中心に、一括で統一していくことは承認
今後は、西部地区担当理事と広報部で進めLINEのQRコードを研修会などの度に広げていく。

(5) 渉外部(岡庭会長)

渉外活動

| 日時 | 内容 | 対応 |
|-----------------|---|---------------------------|
| 令和5年4月3日 | 専門学校 富士リハビリテーション大学校 入学式 挨拶 | 会長 |
| 令和5年4月20日 | 第1回 JRAT 定例会議 (WEB会議) | 会長 村岡副会長 |
| 令和5年4月26日 | 静岡県自立支援協議会 地域移行部会 事務局会議 | 会長 |
| 令和5年5月31日 | 静岡県自立支援協議会 地域移行部会 研修ワーキング(WEB会議) | 会長 |
| 令和5年6月2日 | 静岡社会健康医学大学院大学 学長対応 | 会長 |
| 令和5年6月6日 | 静岡県自立支援協議会 地域移行部会 ピアワーキング(WEB会議) | 会長 |
| 令和5年6月10日 | 第1回 日本作業療法士協会会長・士会長会議 (WEB会議) | 副会長 |
| 令和5年6月17日 | 第26回 静岡県理学療法学会 開会式 | 川口副会長 |
| 令和5年6月25日 | 静岡県公認心理師協会設立記念式典 | 会長 |
| 令和5年6月29日 | P.O.S 会長会議 (WEB会議) | 会長 |
| 令和5年7月1日 | 令和5年 第1回 三団体連絡協議会定例会 | 会長 副会長 大石理事 加納理事 |
| 令和5年7月18日 | 静岡県自立支援協議会 地域リハビリテーション部会 | 会長 |
| 令和5年7月21日 | 富士リハビリテーション大学校 職業倫理講義及び 管理運営(協会、県士会活動について) | 会長 |
| 令和5年 9月9,10日 | 第2回 協会会長・都道府県士会長会議 | 会長 |
| 令和5年9月21日 | 静岡県自立支援協議会 地域移行部会 事務局会議(WEB会議) | 会長 |
| 令和5年9月22日 | 静岡県自立支援協議会 地域移行部会 (WEB会議) | 会長 |
| 令和5年9月22日 | 静岡県作業療法連盟 (WEB会議) | 会長 |
| 令和5年9月28日 | JRAT 定例会議(WEB会議) | 会長 |

| | | |
|-----------|--|-----------------------------------|
| 令和5年10月4日 | 自民党県連、自民改革会議 「厚生問題対策連絡協議会」事前協議（WEB会議） | 会長 稲葉理事 秋山理事 梶原連盟副 会長 |
|-----------|--|-----------------------------------|

（6）福利部（齊藤理事）

東海北陸リーダー養成研修会

内容：別紙

○各県へ案内を送信、郵送済み。10月末締め切りで参加者募集、参加費の振り込み予定
現在福井県から参加者申し込みあり

しずおか OT トーク

OT トークのみでの開催は年1回または2回程度を予定

（新人や数年働いた方を対象にして、悩みなどを聴取、10月と2月頃の開催を予定）

しずおか OT スポーツで交流会

報告：別紙

（意見）

・福利厚生については、参集できない方に対しての企画も検討していけるように（岡庭会長）

（7）地域事業部（建木理事）

一般市民作業療法啓発事業

高校生施設見学受け入れ対象期間：2023年7月31日～8月6日

最終受け入れ人数は11名であった。

子どもたちの学習サポート事業

案内を送付し、自助具作製の動画を5本公開している。

自助具説明（159回再生）自助具作製（186回、152回、146回、159回）

合計802回再生。

アンケートの回答が3件（うち実際に作製した写真が2件）であった。

チャレンジ事業

三保でユニバーサルビーチをやる会の会

開催日：2023年8月20日（日）

参加者：68名

内容：障害の有無に関わらずマリンスポーツを楽しむことを支援する活動

別紙あり

福祉イベント参加事業

ぬまづ福祉まつり

開催日：2023年9月18日（月・祝）9：00～15：00

内容：作業療法紹介（展示）、自助具展示、自助具作製体験（クリップ箸）

参加者：173名

所感：作製体験は子供中心、自助具展示ブースでは、当事者やそのご家族に、熱心に相談いただいた。福祉の領域では作業療法士との関わりはまだ少ないとの声が聞かれた。

今後の予定

・スポーツ振興事業

enjoy フットサル：2023年12月1日（金）

エスパルスハートフルカップ：2023年10月22日（日）（OTチーム募集中）

（質疑）

・地域事業の継続として参加している。複数年継続しているため、事業の中核となっている担当方が代表として挨拶すれば良いのではないかと。（岡庭会長）

関係性が築けている事業であり、担当者が代表者の挨拶とする

・メディアメッセージ2023

開催日：2023年10月28日（土）、10月29日（日）

場 所：アクトシティ浜松

内 容：作業療法体験・紹介

昨年との変更点として学生の参加及び体験ブースに小児・精神領域を含めた。

スタッフ数：28名（OT4名、学生4名） 募集人数 OT12名、学生6名

29日(OT4名、学生3名)

西部の方を中心にご協力いただきたい。

追加の当日スタッフについては理事メールでお願いしたい。

・しあわせフォトコンテスト

テーマ：高校生活で熱中していること

対象：高校生

応募期間：2023年9月25日～12月31日

審査：1月を予定

方法：インスタグラムに「#私の青春フォトコンテスト」を付け、写真を投稿
インスタグラム内、県士会HP、会報誌にて、一般、会員に周知。

12月31日まで募集し、最優秀賞、優秀賞を選出する予定

(10/11現在フォロー 31名、2件投稿あり)

(8) 東部地区(齊藤理事)

東部地区メール網 配信(登録137名) 前回+1名

16件 配信 (8/13～10/12)

(9) 調査部(武内事務局長)

生活環境支援推進室会議への参加

- ・第21回 静岡生活環境支援推進室 会議

令和5年9月21日 20:00～21:00 リモート

(10) 制度対策部(生田理事)

令和4年度 第2回制度対策部研修会

日時：令和4年10月12日(木) 19:00 - 21:00

場所：オンライン開催

テーマ：チームで行う排泄支援における作業療法士の役割

講師：一木 愛子氏(神奈川リハビリテーション病院)

参加者：23名

その他：アンケート集計中

令和5年度 第1回制度対策部研修会

日時：12月上旬

場所：オンライン開催

テーマ：病院・在宅におけるノーリフティングケアを用いた労働安全衛生

講師：緒方 幸広氏(農協共済中伊豆リハビリテーションセンター)

地域理学療法認定理学療法士

福祉用具プランナー管理指導者、リフトインストラクター(上級)

内容：令和3年度の保健衛生業における業務上疾病(休業4日以上)の発生件数は2,187件であり統計分類上の11業種の中で最も多い。このうち、腰痛(災害性腰痛)の発生件数は2,066件(94.5%)である。平成25年に腰痛予防対策指針が改訂され、ノーリフティングケアが推奨されている。指針を遵守すべきは組織であるものの、様々な現場で勤務する作業療法士が移乗動作に関与する機会は多く、自身を守る上でも知っておくべき知識であると考え。また、本研修ではノーリフティングケアに関して学ぶのみならず、重度障害を有する対象者が在宅復帰するにあたってのリフター活用についても学んでいく機会としたい。

(意見)

- ・夜の研修会参加についての様子はどのような感じか(岡庭会長)
- ・子育て世代の方の参加は難しい様子。どの世代をターゲットとするかによって時間帯は検討していく必要がある(生田理事)

(11) 地域包括ケア推進委員会(加納理事)

令和5年度地域包括ケアシステム推進委員会研修会等について

1) 地域リハ推進リーダー研修会 基礎編

【開催方法】オンデマンド配信

【開催期間】2023年9月1日～2023年10月20日

【参加者】74名

地域リハ推進リーダー研修会 応用編

【開催方法】現地研修(東部・中部・西部をオンラインで結ぶ)

【開催期間】2023年10月29日(日)AM:10:00~PM4:15

【参加希望者】計34名

【研修内容】

- ・通いの場(15分)
掛川東病院 蟹江匠氏
- ・認知症総合支援事業(15分)
鷹岡病院 河村明広氏
- ・短期集中C(15分)
聖隷袋井市民病院 長田圭太郎氏
- ・精神分野(15分)
グリーンワークス リラ 山本晃弘氏
- ・小児分野(15分)
城ヶ崎いこいの里 児童発達支援センター クローバー 梶原淑恵氏
- ・グループワーク

地域リハ実践者研修会

【開催方法】対面研修 静岡駅パルシェ内 7階D会議室

【開催期間】2023年11月19日(日) 13:00~16:00

【対象】地域リハビリテーション推進委員

地域リハ推進リーダー研修応用編修了者

【研修内容】

- ・地域包括ケアの動向と作業療法協会の方針
講師：公益社団)静岡県作業療法士会
地域包括ケア推進委員会 委員長 加納彰氏
- ・静岡県での先進事例紹介
事業参画するまでの経緯や行政との関わり方について行政と作業療法士双方からの報告
~市の訪問型サービスCに関わる事業立ち上げに作業療法士が参画する実践例を赤裸々にご報告いただきます~
講師：沼津市基幹型地域包括支援センター 佐藤智道氏
株式会社デイベンロイ ピリ睦氏
- ・実際の地域支援事業に関するノウハウを学ぶ
- ・事例検討(多重課題を持つ事例に対し他領域の作業療法士で検討 地域共生社会への対応に向けて)

地域事業支援会議について

<参加者>

現地参加：小出弘寿副班長

WEB参加：岡田真紀子副班長、鈴木嘉子委員

概要はニュースレターをご覧ください。

(質疑)

- ・情報共有、発信について、Everidaysの一部フォルダの共有は可能か(加納理事)
- ・共有は可能。現状は理事のみが使用しているが、部員にも権限を付与して活用が可能。(大塚理事)
- ・権限を広げる場合、報告していくように(岡庭会長)

(12)訪問リハ連絡委員会(齊藤理事)

人材育成研修会

内容：別紙

○各士会会員、関係団体へ広報予定

シンポジウム

実施日：令和6年2月25日

場所：グランシップ

方法：対面

時間：2時間(13:30~15:30)

テーマ：「同時改定から読み取る訪問事業におけるリハビリテーションの役割」

【内容】

基調講演：「同時改定における訪問リハビリの方向性」(40分間)

佐々木嘉光氏（PT 協会副会長）

事例報告：2 事例（20 分間）

- ・ ST
- ・ 伊藤 OT（浜松リハビリテーション病院）
- ・ 植松 PT（NTT 東日本伊豆病院）

シンポジウム：「同時改定におけるリハビリがやるべきこと
短期集中リハビリとリハビリの卒業に向けて」（40 分間）

< 候補者 >

医師： 磐田市立総合病院 リハビリテーション科 医長 有本直人氏
・ 回復期～在宅、地域連携に
聖稜リハビリテーション病院 リハ医 五十嵐氏
看護師：聖稜リハビリテーション病院にお勤めの看護師
ケアマネ：黒川氏（伊豆市）

（共有）

- ・ 訪問リハビリ連絡委員会の委員長が加納理事から齊藤理事となった。

（13）生活支援環境推進室（武内事務局長）

生活行為工夫情報の活動啓発と事例登録を増やすため「SIG 創造塾（静岡 OT ものづくり研究会）
学術集会」を開催し、その学術集会を通して当事業の啓発と生活行為工夫情報の事例登録につな
げている。

運営メンバー：林正春・秋山恭延・大庭健嗣・金子智治・青島健太・鈴木崇也・増田昌行・岩本
亮・佐藤秀樹・岡本博行

第 21 回（令和 5 年度第 5 回）静岡生活環境支援推進室会議

令和 5 年 9 月 21 日 20:00～21:00 リモート

第 25 回 SIG 創造塾学術集会（生活行為工夫情報 説明会）

日時：2023 年 9 月 29 日 19:00～21:00

参加者数：14 名

発表数：6 演題 生活行為工夫情報事例登録へ

（14）事務局（武内事務局長）

県士会員数：1,758 名（9 月 30 日現在）東部 572 名・中部 440 名・西部 746 名

（下記 令和 5 年度月次会員数推移参照）

新規入会者：9 名（名簿 参照）

会費納入状況

2023 年度会費納入者 1,504 名 コンビニ払い 1,489 名、郵便振込み 15 名

（9 月 30 日現在）納入者数 会員 86%

ZOOM 利用申請（各部局）9 月～10 月 19 件

物品借用依頼（各部局）3 件

ゆうちょ銀行当座口座より 静銀口座へ 10/10 資金移動済 11,231,112 円

令和 5 年度事務局会議

- ・ 日 時：令和 5 年 9 月 30 日（土）13：30～17：00
- ・ 出席者：事務局員、総務部員、財務部員（計 13 名）
- ・ 内 容：第 1 部 各部定例会議
第 2 部 事務局全体会議

OT 協会組織率対策委員会

・ 進捗報告

5 月に実施したアンケートの分析と事業計画について委員会内に WG を設置し
検討。9 月 9.10 日の 48 委員会にて進捗報告と各士会でモデル事業を実施する
ための計画について GW にて討議していただいた。

今後は、協会の理事会に具体的な事業実施における提言書を提出していく。

・ 委員会（オンライン）スケジュール

第 4 回委員会：8 月 22 日

第 5 回委員会：10 月 3 日

第 6 回委員会：10 月 23 日 or 24 日で調整中

（15）総務部

委嘱状発送スケジュール、部員名簿の管理依頼

- ・スケジュール（伊井理事）
委嘱状任期変更に伴い、部員名簿のご提出を前年度事業中に依頼をしたい。
2月理事会に依頼
3月末（臨時理事会）で部員名簿の承認
4月～5月に委嘱状発送
- ・部員名簿の管理依頼（武内事務局長）
謝金支給を部員名簿で抽出するため、名簿に新規・継続・退任が分かるように作成。
年度更新時及び新任された時点で作成をお願い致します。
- ・R5年度委嘱状にて就任承諾書・部員謝金振込申請書を10月末迄に事務局へ返信
未提出の部員への声かけをお願いします

規約関連（武内事務局長）

- ・規約検討委員会と総務部の役割の分担
総務部は理事会で出た規程の作成や改変を担当。規約検討委員会は法人管理が主であり、会の活動がルールに則って行われているかを精査。柔軟に対応しつつ実務に合わせたルールの改変も随時検討する。加えて各規程の整合性を図り規程が連動性を持ち運用できるようにする。
- ・規程に関する今後のスケジュール（別紙1900-4）

学生会員（藤田理事）

学生会員入会のご案内にQRコードを追加し完成。
今年度は数か月中に事務局で400部印刷し、養成校へ渡す。
来年度は3月頃に養成校へ渡す。

鏡文章を作成した。

クリアファイル残数を確認して広報部に発注を依頼する。（10/15現在 909部）

クリアファイルはメディメッセージ後でも対応可能。

学生名簿については、県士会で管理は行わない。学生が在学中は学生会員としていく。

物品管理（市川）

運用し出てきた課題に対して対応中

- ・個数の表記が煩雑 Googleフォームの付記または手書き記載してもらおう。
- ・物品の写真が欲しい 教育部にご協力頂きハイブリットセットを作っていただく手はず。
そのセットのみ写真を撮影し追加
- ・物品借用日の変更 事務局へ連絡し他部局とのブッキングを確認
- ・当日の借用個数の変更 ブッキング回避のため付箋で提示
- ・回答の変更 修正ではなく、新規でフォームへ回答

退任者への感謝企画（坂中）

- ・年1回掲載（内容：退任者氏名、所属、部局名、他）
- ・1～2名であれば会報誌のスペースを依頼するが、それ以上であれば、文書作成し会報誌に同封する。
- ・掲載を辞退される方には、会長からお手紙を郵送所属。

倫理委員会（藤田理事）

- ・委員会の組織作り
- ・窓口体制整備（媒体は電話、メール、Googleフォーム。対応スキルの構築）と周知

永年会員（武内事務局長）

- ・本人の申請制なので周知をする必要がある。
- ・方法：会報誌に同封、HPとLINE掲載。サイズ：A4用紙1枚
- ・タイムスケジュール：総務部会議やスラックで意見頂きながら完成。12月理事会で報告し、広報部に依頼

施設代表者会議（大塚理事）

- ・候補日は講師の都合で2月3日午前、オンライン開催、場所は事務局隣会議室予定。
- ・一人1000円会議費支給。
- ・内容：協会と県士会の現状、目指す方向性について 岡庭会長
各部からの情報提供+制度対策部からの情報提供 理事会にて打診
若手セラピストの力の引き出し方（仮） 生田理事
グループワークの方法は検討中。

（16）第37回学会（大塚理事）

- ・第7回5役会議開催 令和5年9月29日(金)
- ・基調講演 遠藤真史氏(えんどうまさし)福島県相馬地方期間相談支援センター拓

【事務局】

総務

- ・名刺、封筒作成済み
- ・ノベルティグッズや記念品を検討中

広報

・外向け

ポスター、チラシ等の広報手段を検討中。1月中旬～2月上旬発行、今年中に原稿作成
ポスター 31回では150枚。中部地区周辺を中心に、保育園・児童クラブ・学童・通級支援
など親の目にふれる場所に配布予定。事務局がおおよその数を確認する予定。チラシ配りを静
岡駅前で行っていくことも検討中。

- ・内向け：インスタ等SNSを活用。各部署で月1回以上は投稿予定。各局で担当を決める。使
用方法も検討が必要。最初は内向けで、チラシを配る段階で外向けに転換していく

文書管理部

委嘱状作成、後援依頼行っている

広告依頼は実施予定。それに合わせて、福祉用具展示は実施しない予定。しかし企画として、
商品紹介の時間も用意するなど検討中。

【運営】

- ・会場運営：31回学会時のマニュアルの確認してと37回でのレイアウトを検討中
オンデマンドは実施せず、見逃し配信検討。
公開講座など会場に入りきらなかった場合はサテライト会場を作りライブ配信を
検討

受付・接待

・peatix：検討中

アカウントをどのように管理していくか 受付・接待で管理、財務と共有していく
インボイスに対応しているか財務、税理士等で確認

対応がない場合、ネームカードの領収証になるか別になるかは検討

できれば事前支払いで完結したいが、慣れない人のためには当日支払いも行わなければ
いけないか。事前割引など当日と事前で金額を差別化し、事前登録を促進する。

その他の割引も検討

・レセプションの支払い

事前申し込み、当日支払い

ホームページにレセプションのURLを貼っていく

・当日人員

10月頃：おおよその形が決まり、マニュアル作り

12月：当日の運営スタッフの募集行っていく

- ・公開講座：事前受付、参加者整理券を配布する形で検討中。事前に参加者把握できるような形
で進めていく。定員以上は入れてはいけないため、サテライト会場使ってライブ配信(10F?)

【学術】

9月19日 36回学術局長との引き継ぎは完了

●演題募集：10/16～12/15

ポスター7割、口述3割程度で想定。スペシャルセッションも検討

募集目安 目標30件

●学会企画

企画は多く作成できているが、日程に合わせて絞り込む作業を進めていく状況

中庭入れて4～5本ぐらい

同時に動く企画は3とかのイメージ

●教育公演(優先順位)

身体OT領域 上肢機能アプローチ 講師候補：1.竹林崇氏 2.山本伸一氏

精神OT領域 依存症関連?

発達OT領域 CO-OPアプローチ 講師候補：1.塩津裕康氏(中部大学)：

高齢期OT 講師候補：小川氏

認知症OT 認知症の評価 講師候補：田平隆之氏

- 芝生：2日目のみ開催する
公開講座からの流れで昼頃の集客を狙いたい。
一般向けの広報が重要となる

- 企画メイン会場：10F 1001、1002
9F 910

- ・スケジュール：1日目 10時ごろ 受付
11:00 開会式
17:00～18:00 で終了
ポスターは1日目
2日目 9:30 受付
10:30～11:30 公開講座
90分 教育講演
17:00 閉会式

総会あり ver、総会なし ver を検討（総会は別開催とすることで決定）

演題採択

学術部より：認定 OT への査読依頼書及び査読実施証明書の発行を調整中（認定 OT の更新に必要な書類）

学会として査読依頼がしやすい方向になるか。

演題採択部はこれまで学会とは別で県士会学術部員が学術部の業務として担ってもらっていた。

しかし県士会学術部員の不在により、学会の実行委員で人員を補填することとしたため、今回は県士会学術部員も実行委員として取り込む。そのため演題採択以外の業務も担ってもらうこととなる。

事務局関連

後援依頼

他団体に関しては36回学会の報告後に依頼予定

関係自治体の期日は確認済み（10月中には依頼を進める予定）

報告第4号 その他

- (1) ST 士会より、シズケアかけはしのアンケート依頼あり。地区理事メールにて配信していく。（村岡副会長）
- (2) 三団体の地域包括ケア委員会について、大石理事が委員長、PT 小原氏が副委員長となった。東中西部でそれぞれ人員を選出していく。（大石理事）
- (3) シズケアかけはしの普及にて、設定やログインで躓くことがあり、動画を作成した。（加納理事）
- (4) 日本司法作業療法学会が開催される。広報していく。（岡庭会長）
- (5) 12月に運転についての研修あり。建木理事が対応していく。
- (6) 静岡県作業療法士連盟からの情報共有について（岡庭会長、稲葉理事）

組織について

- ・静岡県は会長が不在の中、現状は稲葉理事が会長のような立ち位置で動いている。
- ・政治活動に対しては、自民党と組んで動いていく方向。

要望書について（OTのみではなく、リハビリ、看護、介護等の意見として挙げる）

- ・今後は、理事会の議題の中で随時連盟に挙げる課題を検討していく。
- ・要望事項（別紙）

グレーゾーンの方への対応については、反応が良好であった。

学校や地域、高度急性期等へのセラピスト参入や連携について記載している。

- ・要望書や連盟については、実際に動いてもらうため、というよりは議員に伝えていくということが役割であると感じている。

- ・来年は8月頃から課題の抽出等を行っていく予定。

- (7) 10月15日、監事監査終了。（勝又監事）

(8) 令和 5 年度 第 5 回 理事会

候補日：12月16日(土)・23日(土)・24日(日)

令和5年度理事会開催予定日および開催日

| | 開催日・候補日 | | 備考 | 主な行事 |
|-------|---------|----------------------------------|-----------|--|
| 第1回 | 4月 | 23日(日) | 総会資料確認 | |
| 第2回 | 6月 | 11日(日)(総会10日 学会) | (拡大理事会) | 48委員会10日 (協会総会 5/27) 17日 18日 PT 学会 |
| 第3回 | 8月 | 15日(日) | | 9月10日 48委員会 |
| 第4回 | 10月 | 15日(日) | | 11月25日 48委員会 |
| 第5回 | 12月 | 3日 4日 16日 23日 24日 | 拡大理事会 | 東海北陸9日10日 (岐阜) 忘年会? |
| 第6回 | 2月 | 3日 4日 10日 11日 17日 18日 24日 25日 | 予算案 | |
| 臨時理事会 | 3月 | 2日 3日 10日 16日 17日 23日 24日 | 年度末の会計 | 9日 48委員会 |

9. 議長は以上をもって議事は終了した旨を述べ、午後 17 時 48 分、閉会を宣言した。
以上の決議を証するために、この議事録を作成し、議事録署名人が署名・押印をする。

議事録作成者 市川志帆 坂中里歌

